

「未来Create Club」は、「袋井市の防災の力になりたい」という思いをもった市内の中学生11人で構成されたクラブです。

私たちは7月には能登半島地震で被災した石川県鳳珠郡穴水町で災害支援ボランティアを経験しました。実際に現地を見たり、被災された方々と交流したりすることとおして、災害が起こった時のことを想像し、日頃から意識して備えていくことが大切だと感じました。

12月1日の地域防災訓練では次の2つのことを提案しました。みなさんもぜひ取り組んでみてください。

① 自分や家庭に合った防災バッグを用意しよう

【一般的な非常持ち出し品】

便利グッズ

- ・懐中電灯・笛やブザー
- ・万能ナイフ・紙皿
- ・割りばし・プラコップ
- ・雨具・給水バッグ
- ・ブランケット等

貴重品

- ・現金・通帳
- ・車や家の予備鍵等

衛生用品

- ・歯ブラシ・綿棒
- ・タオル・マスク等



【自分や家庭に合った持ち出し品】

高齢者世帯の例

《毛布》



《笛》



《常備薬》



《カイロ》



《とろみ食》



《ボディシート》



《おむつ》



《ラジオ》



乳幼児のいる家庭の例

《粉ミルク・離乳食》



《歯磨きシート》



《哺乳瓶》



《おしゃぶり》



《おもちゃ・絵本》



《抱っこ紐》



《おむつ》



② 簡易トイレを用意しよう

【仮設トイレ】



課題

- ・設置されるまでに時間がかかる。
- ・みんなで使うため、衛生面に不安を感じやすい。
- ・設置された場所まで移動しなくてはならない。

皆さんに
備えてほしいのは...

【簡易トイレ】



- ・1人でも素早く準備できる。
- ・1人でも汚物の処理ができる。
- ・少人数で使用するため衛生面の負担が少ない。
- ・持ち出していればどこでも使える。
- ・自宅避難のときに水が使えない状況でも用を足せる。

地域防災訓練（令和6年12月1日）



訓練を実施した 未来Create Clubメンバーの声

- ・災害時には、普段当たり前にできていたことができなくなる。そのことをもっと地域に知ってほしい。
- ・普段から地域の人たちとのつながりを築いておくことが大切。その上で地域や家庭に合った備えをすることが大事だと思う。
- ・避難時にストレスを溜めないために、事前に避難生活を想定し、準備をしておくことが大切だと思った。
- ・子どもだからできることがある。だれもが自分から行動できるようになるとよい。

訓練に参加した 地域の皆さんの声

- ・家族でよく話し合っ備えをしたい。備蓄品や避難場所など、家族みんなが知っていることが大切だと感じた。
- ・使い方を知ることができてよかった。いざというときに自分で自分の生活を守る意識をしっかりともちたい。



災害時、自分の身の周りでどんなことが起こるか想像してみてください。
「身の安全」と「心の安定」がとても重要になります。そして、日頃から助け合える
地域にしていけることも災害を乗り越えていくために大切なことだと私たちは考えます。